

新発田市スポーツ（体育）協会のあゆみ

（新発田市体育会 50 周年記念誌より抜粋）

- 昭和 21 年 陸上競技、庭球、野球、相撲、山岳スキー、柔道の 6 団体で「新発田町体育団」を組織。
- 昭和 22 年 新発田市制施行に伴い「新発田市体育会」と改称。初代会長に高橋平治郎氏、副会長に西英五郎氏と高橋秀山氏が就任。体操、水泳、剣道、バスケットボールの各連盟も結成され加盟し、所属団体数 10 となる。
- 昭和 23 年 第 2 代会長として西英五郎氏が就任。排球連盟（現、バレーボール協会）、卓球連盟、バドミントン協会が加盟し、所属団体数 13 となる。
- 昭和 24 年 近勇次氏、姉崎静馬氏、三宅誠氏らが中心となって野球場建設期成同盟を結成。
- 昭和 25 年 新発田市営野球場落成し、プロ野球公式戦を開催。中学校体育連盟が結成され体育会に加盟。その後、小学校体育連盟も加盟。
- 昭和 26 年 第 3 代会長に近勇次氏が就任。その後、第 4 代会長に姉崎静馬氏就任。弓道会が独自で弓道場（現文化会館裏）を落成。柔剣道場（現警察署裏）落成。
- 昭和 27 年 高等学校体育連盟が結成、弓道会が弓道連盟を結成しそれぞれ体育会に加盟し、所属団体数 17 となる。
- 昭和 28 年 営前テニスコート完成。
- 昭和 29 年 社会体育優良団体として文部大臣、日本体育協会会長連盟表彰受賞。
- 昭和 30 年 第 5 代会長に近勇次氏再就任。オリンピック体操競技選手竹本正男氏を招待し、市営野球場で公開演技。
- 昭和 32 年 赤谷スキー場開設。
- 昭和 35 年 ラグビーフットボール協会（現、連盟）と空手道連盟加盟。所属団体数 19 となる。
- 昭和 37 年 新発田市体育館竣工落成。
- 昭和 38 年 西公園バレーボールコート完成。
- 昭和 39 年 第 19 回新潟国体開催。新発田市が一般準硬式野球、バレーボール、山岳競技の 3 種目の会場となる。新発田市スポーツ少年団が結成され、9 団体が加盟。
- 昭和 40 年 機関紙「体育新発田」発刊を決定。編集委員会を設置し、創刊号を発刊。
- 昭和 41 年 市島仙三副会長、県スポーツ少年団副本部長に就任。山岳スキーに替わりスキー協会、及び拳闘連盟が体育会に加盟し所属団体数 20 となる。
- 昭和 42 年 体育会創設 20 周年記念「第 1 回市民スポーツ振興大会」を 6 月に開催。60 団体、3,500 名が参加。市営球場で式典挙行後、体育会 21 団体、県民少年団及びスポーツ少年団 10 分隊、他 21 団体で市内パレードをする。
- 昭和 44 年 躰道協会が加盟し、所属団体数 21 となる。

- 昭和47年 第1回市民総合体育大会が開催され、11種目に3,000人が参加。拳闘連盟退会し、所属団体数20となる。
- 昭和48年 新発田市武道館が外ヶ輪小学校脇に完成。
- 昭和49年 第6代会長に市島仙三氏就任。
- 昭和50年 西公園バレーボールコート跡に市営テニスコート新設。
- 昭和51年 市島仙三会長が急逝され、ご遺族より寄贈いただいたものを基に新発田市体育会振興賞（市島賞）を制定。軟式庭球連盟（現、ソフトテニス連盟）が庭球協会（現、テニス協会）から分離し、所属団体数21となる。
- 昭和52年 第7代会長に高沢時雄会長代行が正式就任し、現在に至る。
体育会創設30周年記念事業実施。陸上競技場、市民プール完成。
- 昭和53年 ゴルフ連盟が加盟、所属団体数22となる。小舟町に弓道場落成。
- 昭和54年 サッカー協会が加盟し、所属団体数23となる。
- 昭和55年 新発田市体育会と大韓民国議政府市体育会との間で体育交流協定締結。
- 昭和56年 第1回日韓親善スポーツ交流大会が韓国議政府市において開催され、94名を派遣。剣道協会が退会し、所属団体数22となる。
- 昭和57年 社会人野球協会（現、連盟）が加盟し、所属団体数23となる。
- 昭和58年 少林寺拳法連盟が加盟し、所属団体数24となる。
- 昭和59年 新発田市カルチャーセンター竣工。第4回日韓親善スポーツ交流大会を新発田市で開催。
- 昭和62年 体育会創設40周年事業を実施。ゲートボール連盟が加盟し、所属団体数25となる。
- 昭和63年 綱引連盟が加盟し、所属団体数26となる。
- 平成6年 ソフトボール協会が加盟し、所属団体数27となる。
- 平成8年 グラウンド・ゴルフ協会が加盟し、体育会所属団体数28団体となり、スポーツ少年団加盟団体数は11団体となる。
- 平成9年 体育会創設50周年記念事業を実施。
- 平成12年 第8代会長に田畔秀登氏が就任。「新発田市体育会」を「新発田市体育協会」に改称。
- 平成15年 第9代会長に大沼淳氏が就任。五十公野公園陸上競技場がリニューアル。
- 平成16年 新発田市・豊浦町合併記念事業「あなたのまちに名球会がやってくる 新発田大会」が開催。豊浦地区体育協会（現、豊浦地区スポーツ振興会）が加盟し、所属団体数29となる。
- 平成17年 ソフトバレーボール連盟、紫雲寺地区体育協会（現、紫雲寺スポーツ振興会）、加治川地区体育協会（現、加治川スポーツ振興会）が加盟し、所属団体数32となる。
- 平成18年 「市民運動の祭典」に、元オリンピック陸上競技選手高野進氏を招待し、五十公野公園陸上競技場でウォーキング教室及び陸上教室を開催。
- 平成19年 「市民運動の祭典」に、バルセロナ・アトランタオリンピック女子マラソンメダリスト有森裕子氏を招待し、五十公野公園陸上競技場でウォーキング教室及び陸上教室を開催。
- 平成20年 「市民運動の祭典」に、元バレーボール女子日本代表中田久美氏を招待し、五十公野体

育施設でバレーボール教室を開催。

平成21年 第64回新潟国体開催。新発田市がゴルフ、サッカー、ラグビーフットボールの3種目の会場となる。

平成22年 水泳連盟が退会し、所属団体数31となる。

平成23年 太極拳協会が加盟し、所属団体数32となる。

平成25年 第10代会長に齋藤榮氏が就任。バウンドテニス協会が加盟し、所属団体数33となる。

平成27年 第11代会長に樋口清氏が就任。空道協会が加盟し、所属団体数34となる。

平成29年 体育協会創設70周年記念事業を実施

平成30年 「新発田市体育協会」を「新発田市スポーツ協会」に改称。

平成31年 第12代会長に佐藤哲也氏が就任。

令和3年 事務局移管。認定NPO法人新発田市総合型スポーツクラブ「とらい夢」へ。

令和4年 「市民総合体育大会」を「市民総合スポーツ大会」に改称。

令和5年 ホームページ制作・公開